
京都世界水大賞 2022

報告書



共催

京都市・世界水会議（WWC）・日本水フォーラム

2022年7月

(表紙写真提供: World Water Council)

目次

謝辞	3
1. 京都世界水大賞	4
1.1 京都世界水大賞とは	4
1.2 京都世界水大賞 2022	5
1.3 受賞団体の概要	11
2. 受賞団体によるプロジェクトの概要	12
3. 協賛	14

報告書に記載の情報は、2022年3月末時点のものです。

謝辞

京都世界水大賞 2022 の共催者として、インドの NGO「Pragati」（プラガッティ）の授賞を心よりお祝い申し上げます。

太陽光を利用した、灌漑農業推進と安全な飲み水の確保のためのプロジェクトが、「伝統と革新の調和」と「文化とコミュニティに寄与し持続可能な活動である」という今回ならではの審査項目を満たしたことは大変喜ばしい限りです。水問題解決のみならず、環境負荷削減にも寄与する自然エネルギーを活用した取り組みが高く評価されたことをご報告いたします。

そして、大賞の選定にご尽力いただいた京都世界水大賞 2022 選定委員会の Yoonjin Kim 副委員長（WWC アジア太平洋地域マネージャー）、岡田博史委員（京都市総合企画局総合政策室 SDGs・市民協働推進部長）、青山有亜委員（株式会社 CB 執行役員（国際担当））の皆様には厚く御礼を申し上げます。

本大賞の開催及び賞金の授与に当たり、協賛 6 社の皆様より多大なるご支援をいただきました。皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

【ゴールドスポンサー】株式会社 CB

【スポンサー】株式会社島津製作所、株式会社東京建設コンサルタント、オルガノ株式会社、五洋建設株式会社、川合鑿泉工業株式会社（順不同）

Pragati が、同様の水問題に直面している草の根団体に対するロールモデルとしてさらに発展することとを期待します。

門川 大作

門川大作

京都市
市長



竹村公太郎

日本水フォーラム
代表理事・事務局長



ロイック・フォーション

世界水会議
会長

1. 京都世界水大賞

1.1 京都世界水大賞とは

京都世界水大賞は、途上国の水問題に向けて優れた活動を続ける草の根団体を顕彰する、世界で唯一の国際的な賞です。2003年、第3回世界水フォーラムが日本（琵琶湖・淀川流域）で開催されたことを契機に、京都市と世界水会議により創設されました。以来、3年に一度開催される、世界水フォーラムに併せて実施されています。

◆ 歴代受賞団体

第1回京都世界水大賞

受賞団体：Gram Vikas（インド）

URL：<http://gramvikas.org/>

授賞式：第4回世界水フォーラム（2006年、メキシコ）

第2回京都世界水大賞

受賞団体：Watershed Organization Trust（インド）

URL：<http://www.wotr.org/>

授賞式：第5回世界水フォーラム（2009年、トルコ）

第3回京都世界水大賞

受賞団体：Katosi Women Development Trust（ウガンダ）

URL：<http://www.katosi.org/>

授賞式：第6回世界水フォーラム（2012年、フランス）

第4回京都世界水大賞

受賞団体：Environment and Public Health Organization（ネパール）

URL：<http://enpho.org/>

授賞式：第7回世界水フォーラム（2015年、韓国）

第5回京都世界水大賞

受賞団体：Charité Chrétienne pour Personnes en Détresse（トーゴ）

URL：<https://www.ccpdtogo.org/>

授賞式：第8回世界水フォーラム（2018年、ブラジル）

¹ 日本水フォーラム調べ

1.2 京都世界水大賞 2022

京都世界水大賞 2022 では、過去に実施されたプロジェクトの成果や影響を審査対象として公募を行いました。

今回の京都世界水大賞は、



- 京都の伝統と革新を調和させながら自然災害、疫病等から復興してきた強靱性と発展の歴史に着目し、
- 地域の共同体の固有の社会的・文化的な特徴を踏まえた活動が、その地域の持続可能な発展につながる

という考えの下、発展途上国の将来に資する水問題解決に向けて精力的な活動に取り組む優れた草の根団体を顕彰することで、草の根活動の質の底上げを期待するとともに、広く世界に発信することで草の根活動の重要性を訴えていくことを目的としました。

◆ 公募と周知

今回の大賞実施にあたり、2021年4月にPR動画2本（どちらも英語）を新たに作成・公開し、各共催者のウェブサイト等のほか、日本水フォーラム公式 SNS を活用して公募の周知を行いました。その結果、23カ国から50件の応募が寄せられました。

作成した PR 動画（英語）

	
Kyoto World Water Grand Prize 2022_PR_1min	Kyoto World Water Grand Prize 2022_PR_3min
1 分版 https://www.youtube.com/watch?v=jULV9RbNQBo	3 分版 https://www.youtube.com/watch?v=rTd5hgloI5s

NGO 団体「Pragati」を大賞に選定しました。受賞団体の決定は、共催者のウェブサイトやメールマガジンなどで発表しました。

審査概要

- ・ 募集期間：2020年9月7日～2021年4月30日
- ・ 総応募件数：23カ国、50件
- ・ 1次審査結果：通過30件
- ・ 2次審査結果：通過3件
- ・ 最終審査結果：大賞1件
- ・ 京都世界水大賞 2022 選定委員会
委員長：日本水フォーラム 代表理事 竹村公太郎
副委員長：世界水会議アジア太平洋地域マネージャー Yoonjin Kim
委員：京都市総合企画局総合政策室 SDGs・市民協働推進部長 岡田博史
委員：株式会社 CB 執行役員（国際担当） 青山有亜

各共催者の SNS およびウェブサイトへの掲載

 <p>日本水フォーラム / Japan Water Forum @JapanWaterForum</p> <p>Pragati winner of the Kyoto World Water Grand Prize 2022 worldwaterforum.org/en/latest-news.....</p> <p>#KyotoWorldWaterGrandPrize #Japanwaterforum #WorldWaterForum9</p> <p>ツイートを翻訳</p> <p>WORLD WATER COUNCIL SPECIAL EDITION KYOTOWORLDWATER GRANDPRIZE</p> <p>午前10:56 · 2022年2月16日 · Twitter Web App</p>	 <p>Japan Water Forum 2021年12月20日 · 🌐</p> <p>京都世界水大賞2022年 受賞団体が決定しました！ ▼詳しくはこちら▼ https://waterforum.jp/news/18869/</p>  <p>WATERFORUM.JP 京都世界水大賞2022年 受賞団体が決定しました！ - ニュース - 日本水フォーラム</p> <p>👍 2</p>
日本水フォーラム公式 Twitter	日本水フォーラム公式 Facebook

広報資料

京都市
CITY OF KYOTO

Japan Water Forum
日本水フォーラム

WORLD WATER COUNCIL

令和3年12月20日
京都市総合企画課
担当：総合政策室
SMG・市民協働推進課
TEL: 075-222-3378

「京都世界水大賞 2022」受賞団体が決定しました！

この度、公募及び厳正な審査の結果、「京都世界水大賞2022」の受賞団体を、インドのNGO「Pragati」（プラガッティ）に決定しましたのでお知らせいたします。
授賞式は、令和4年3月、「第9回世界水フォーラム2022」（セネガル・ダカール）の会場にて執り行います。

記

- 1 公募期間：令和2年9月7日～令和3年4月30日
- 2 応募件数：23 箇所（金額協賛金により異なります）
- 3 大賞賞金：200 万円（金額協賛金により異なります）
- 4 協賛企業：【ゴールドスポンサー】株式会社CB
【スポンサー】株式会社島津製作所、株式会社東京建設コンサルタンツ、オルガノ株式会社、五洋建設株式会社、川崎重工業株式会社（順不同）
- 5 受賞団体：Pragati（プラガッティ）/ インド南オリッサ州コラプット地区
- 6 選考理由：「伝統と革新の調和」を実現する京都ならではの審査項目「文化とコミュニティに寄り添った持続可能な活動である」という点を満たし、水問題解決のみならず、農産物生産にも寄与する自然エネルギーを活用した取組が高く評価されたため。



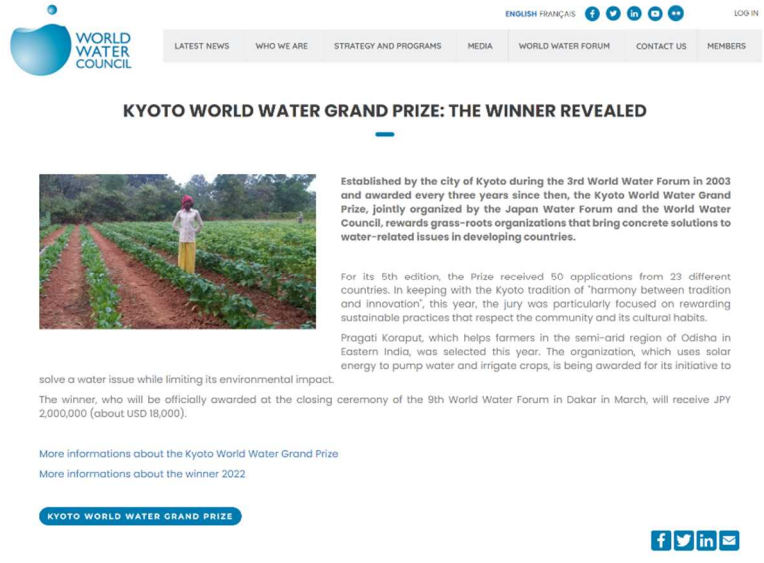

※1 京都世界水大賞
京都市、世界水会議（World Water Council：WWC）及び特定非営利活動法人日本水フォーラムが主催する国際的な賞。途上国の水問題解決に向け、優れた活動を行っている組織を表彰する国際的な賞として、「第3回世界水フォーラム」が組織され、同年で開催された2005年に創設され、以後、3年に1度開催される国際会議「世界水フォーラム」にて授けられる。

※2 世界水フォーラム
世界中の水に関する課題が一堂に集り、様々な水問題への対応について議論する国際会議。5年に1度、毎年「世界水の日」（3月22日）前後に開催。
（主催：WWC）及び開催地（参加国）：香川京平・菅野純一（京都府）政府機関、民間企業、300 名

京都府プレスリリース



京都市ウェブサイト（抜粋）



WWC ウェブサイト（抜粋）

Established by the city of Kyoto during the 3rd World Water Forum in 2003 and awarded every three years since then, the Kyoto World Water Grand Prize, jointly organized by the Japan Water Forum and the World Water Council, rewards grass-roots organizations that bring concrete solutions to water-related issues in developing countries.

For its 5th edition, the Prize received 50 applications from 23 different countries. In keeping with the Kyoto tradition of "harmony between tradition and innovation", this year, the jury was particularly focused on rewarding sustainable practices that respect the community and its cultural habits.

Pragati Koraput, which helps farmers in the semi-arid region of Odisha in Eastern India, was selected this year. The organization, which uses solar energy to pump water and irrigate crops, is being awarded for its initiative to solve a water issue while limiting its environmental impact.

The winner, who will be officially awarded at the closing ceremony of the 9th World Water Forum in Dakar in March, will receive JPY 2,000,000 (about USD 18,000).

More informations about the Kyoto World Water Grand Prize
More informations about the winner 2022

KYOTO WORLD WATER GRAND PRIZE

🔹 授賞式

2022年3月25日、セネガルのダカール市で開催された第9回世界水フォーラムの閉会式内において、本大賞の授賞式を執り行いました。

受賞団体 Pragati の Secretary である、Prabhakar Adhikari 氏がスピーチをしたほか、京都世界水大賞 2012 受賞団体 Katosi Women Development Trust の代表として、同団体コーディネーターの Margret Nakato 氏が登壇し、草の根の取り組みを通じて self-help（自立）を目指し、活動を維持・発展させていくことの重要性を強調しました。壇上にて、主催者を代表し、日本水フォーラム参与の橋本和司、WWC 副会長の Asma El Kasmi 氏が、Pragati の Adhikari 氏と同 Executive Director の Luna Panda 氏へ賞金ボードを手渡しました。その後、スポンサーを代表して株式会社 CB、及び京都市長より寄せられたビデオメッセージをそれぞれ上映しました。

授賞式概要

- ・ 開催日：2022年3月25日
- ・ プログラム
開会挨拶：日本水フォーラム参与 橋本和司
過去の受賞団体からのスピーチ（Katosi Women Development Trust）：コーディネーター Margret Nakato 氏
賞金ボード授与
受賞団体 Pragati からのスピーチ：Secretary Prabhakar Adhikari 氏
京都市長からのビデオメッセージ
ゴールドスポンサー（株式会社 CB）からのビデオメッセージ

・ 受賞団体代表のスピーチ（抜粋）

「この賞をいただき、大変名誉なことと感謝申し上げます。現場レベルでの社会経済活動の確実な取り組みにより、持続可能な農業の推進と女性の経済的な自立が実現できていると自負している。受賞を励みに、関連する SDGs の目標達成に向け、さらに努力していきたい。」

Prabhakar Adhikari 氏（Pragati）

授賞式（第9回世界水フォーラム閉会式内）



（左から）日本水フォーラム参与橋本、受賞団体代表 Adhikari 氏、Panda 氏、WWC 副会長 Kasmi 氏²



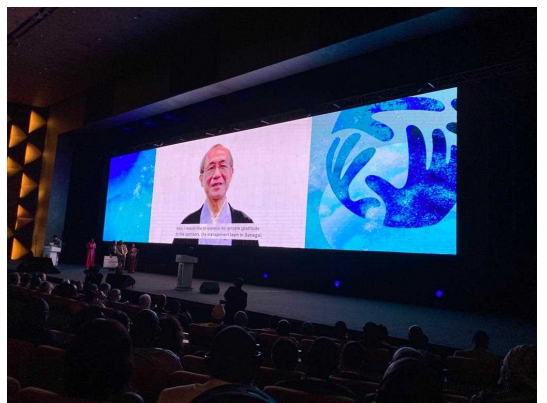
過去の受賞団体代表によるスピーチ



受賞団体代表によるスピーチ



記念撮影の様子



京都市長からのビデオメッセージ

² 写真提供: WWC



ゴールドスポンサーからのビデオメッセージ



JAPAN Boothにて受賞団体及び関係者の記念撮影

1.3 受賞団体の概要

団体名：Pragati（プラガッティ）

1994年に設立されたインドの南オリッサ州に活動拠点を置く NGO（スタッフ数：常勤 22 名、非常勤 36 名）。農山村部の貧困層（特に女性）を対象に、天然資源の管理、持続可能な農業の推進を行い、飢餓の無い、自立した社会を目指す。

- ◆ 主な活動地：インド南オリッサ州コラプット地区
- ◆ URL：<https://pragatikoraput.org/>（英語）



2. 受賞団体によるプロジェクトの概要

- ◆ プロジェクト名：太陽光を利用した、灌漑農業促進と安全な飲み水の確保
- ◆ 実施期間：2012年～2018年
- ◆ 実施場所：インド 南オリッサ州 コラプット地区
- ◆ 直接受益者数：1,081世帯（男性1,122名、女性1,176名、子ども1,907名）
- ◆ プロジェクトの目的と成果：
 - ・ 農村部貧困層の収入向上を目的とし、太陽光発電による灌漑システムを導入。23の村に個人及び共同体のソーラーポンプを設置し、対象となった86haの農地で、野菜や食用作物を栽培する158人の農業従事者に、各世帯で年間平均10万～25万ルピーの収入をもたらした。また、同時にディーゼル動力ポンプの費用を削減、温室効果ガス排出削減にも大きく貢献した。
 - ・ プロジェクトは、農村部への安全な水の提供を目的とし、21の村の923世帯は、太陽光発電による濾過システムの設置を通じて、安全な飲料水を確保することで、水を原因とする感染症や女性の水汲みの重労働が軽減された。
- ◆ 評価ポイント
京都世界水大賞 2022 選定委員会メンバーのコメント（抜粋）
 - ・ 家庭レベルの基本的な水問題を解決するというシンプルな取り組みでありながら、グリーンエネルギーの促進だけでなく、コミュニティ全体にも家庭の収入増や女性の地位向上など大きな影響を与えている点に感銘を受けた。
 - ・ 自然信仰及び太陽信仰が文化として根付いている地域でのソーラーパネルの設置は、地域住民が大切にしている文化や伝統に寄り添い、それらを活かす形で課題解決につなげる理想的なアプローチである。
 - ・ 気候変動対策であるカーボンニュートラルへの取り組みという、現在の世界的なアジェンダの中で非常にタイムリーなプロジェクトである。

受賞団体によるプロジェクトの様子



ソーラーポンプ設置前の荒廃した土地



ソーラーポンプ設置後に作物を育てる農業従事者



太陽光灌漑による半エーカーのモデル農場



太陽光灌漑による野菜栽培をスタートさせた



太陽光発電による飲料水濾過システム



システムを利用し、飲料水を汲む住民

3. 協賛

本大賞は、次の協賛 6 社の皆様の多大なるご支援により実施することができました。
改めて深く御礼申し上げます。

【ゴールドスポンサー】

株式会社 CB

【スポンサー】

株式会社島津製作所

株式会社東京建設コンサルタント

オルガノ株式会社

五洋建設株式会社

川合鑿泉工業株式会社

(順不同)